

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

畜産		冊数	1冊
発行者の略称・教科書の番号	実教718		

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【農業の目標】

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【畜産の目標】

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、家畜の飼育と畜産経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家畜の飼育と畜産経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 家畜の飼育と畜産経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 家畜の飼育と畜産経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【畜産の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
(1) 「畜産」とプロジェクト学習 ア 畜産に関するプロジェクト学習の意義 イ プロジェクト学習の進め方 (2) 畜産の役割と動向 ア 畜産の役割 イ 生活と家畜・畜産物の利用 ウ 畜産物の流通と需給の動向 (3) 家畜の特性と飼育技術 ア 家畜の種類と特徴 イ 家畜の発育と生理・生態 ウ 飼育環境の調節 (4) 家畜の飼育と管理・評価 ア 品種の特性と選び方 イ 家畜の改良 ウ 繁殖計画と管理 エ 飼育計画と管理 オ 家畜と飼料 カ 家畜の病気と予防 キ 家畜・畜産物の商品化と管理・評価 ク 畜舎と機械・施設の利用 (5) 畜産と経営 ア 生産目標と経営計画 イ 生産工程の管理 ウ 流通と販売 エ 地域環境に配慮した畜産	(1) 畜産物の生産から消費、家畜経営までの仕組みを理解できるよう留意して指導すること。また、プロジェクト学習では観察や実験・実習を通して、科学的かつ創造的に学習を進め、畜産に関する実践力が身に付くようにすること。なお、地域農業の実態や学科の特色等に応じて、適切な題材を選定すること。 (2) 「畜産」とプロジェクト学習については、科目学習の導入として扱うこと。また、家畜の飼育と畜産経営の実践については、「畜産」とプロジェクト学習を踏まえ、畜産の役割と動向から畜産と経営までと並行して、又はそれらを学習した後に扱うこと。 (3) 「畜産」とプロジェクト学習については、農業科に属する他の科目と関連付けながら科目全体で科学的かつ創造的に学習を進めるように扱うこと。 (4) 畜産の役割と動向については、畜産物の生産及び需給の動向について基礎的な内容を扱うこと。 (5) 家畜の特性と飼育技術については、家畜の発育過程や生理・生態、飼育環境の調節や環境に配慮した家畜の飼育技術、危害分析・重要管理点方式の考え方を取り入れた飼養衛生管理技術などについて基礎的な仕組みを扱うこと。

(6) 家畜の飼育と畜産経営の実践	<p>(6) 家畜の飼育と管理・評価については、品種の選定、繁殖計画の立案と管理、飼育計画の立案、発育段階に応じた飼育管理、家畜の飼料と病気、商品化と生産物の管理、発育成績や繁殖成績に基づく評価などについて体系的に扱うこと。</p> <p>(7) 畜産と経営については、生産目標の設定と経営計画の立案、農業生産工程管理、販売方法の工夫、生産費や流通手段などについて基礎的な内容を扱うこと。また、安全な食品を供給するための食品トレーサビリティシステムについても扱うこと。</p> <p>(8) 家畜の飼育と畜産経営の実践については、畜産経営に関する実践的な活動を行うこと。なお、起業や六次産業化に関わる内容についても扱うこと。</p>
-------------------	--

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表

調 査 項 目	対象の根拠(目標等との関連)
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)	学習指導要領第3章第1節第3款1(1)
b 農業や農業関連産業と関連付けている内容	学習指導要領第3章第1節第2款第9 2
その他の項目(各教科共通)	学習指導要領、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

イ 調査項目の具体的な内容

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
 - ・ 単元など内容や時間のまとまりを見通して、農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける場面について見取る。
 - b 農業や農業関連産業と関連付けている内容
 - ・ 農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人について設定している場面を見取る。
- 《その他の項目》(各教科共通)
- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
 - ・ 人権課題(同和問題、北朝鮮による拉致問題等)に関する特徴や工夫
 - ・ 安全・防災や自然災害の扱い
 - ・ オリンピック、パラリンピックに関する特徴や工夫
 - ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

② 調査対象事項を設定した理由等

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
 - ・ 学習指導要領の中に、「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成について」が言及されているので、畜産では、安定的な食料生産と環境保全及び資源活用の視点で捉え、持続可能で創造的な農業や地域振興と関連付けるなどの実践的・体験的な学習活動がどのように設定されているかという視点で質的な調査をする。
- b 農業や農業関連産業と関連付けている内容
 - ・ 学習指導要領の中に、「地域や産業界、農業関連機関等との連携・交流を通じた実践的な学習活動や就業体験活動を積極的に取り入れるとともに、社会人講師を積極的に活用するなどの工夫

に努める」とされている。このことから、農業や農業関連産業と関連付けている内容はどのように設定されているかという視点で質的な調査をする。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取扱いについては、学習指導要領に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点

教科名	農業
科目名	畜産

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	実教
教科書番号	農業718◆
教科書名	畜産
(1) 内容	
a 「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）」	
(1) 「畜産」とプロジェクト学習	・「畜産とプロジェクト学習」の単元において、「調べてみよう」「考えてみよう」など調査・検討・発表する活動を取り入れることで、他校のプロジェクトの取組を共有し学校や地域の畜産に関する課題を発見させるなど、題材の理解が深まるよう工夫されている。
(2) 畜産の役割と動向	・「畜産の役割と課題」の単元において、「調べてみよう」「話し合ってみよう」など調査・検討・発表する活動を取り入れることで、食料自給率や飼育用イネ、人工肉に関する課題について理解が深まるよう工夫されている。
(3) 家畜の特性と飼育技術	・「飼育環境の調節」「家畜排せつ物の処理と利用」の単元において、「調べてみよう」「やってみよう」「話し合ってみよう」など調査・検討・発表する活動を取り入れることで、家畜内の快適性や家畜のふん尿の調査や堆肥の活用について、理解が深まるよう工夫されている。
(4) 家畜の飼育と管理・評価	・「養鶏」の単元において、「調べてみよう」「考えてみよう」「やってみよう」など調査・検討・発表する活動を取り入れることで、地域の地鳥や群れとつきあいの関係、種卵（胚）の発育過程について理解が深まるよう工夫されている。
(5) 畜産と経営	・「畜産経営の改善」の単元において、「調べてみよう」など調査・発表する活動を取り入れることで、地域の外部支援組織や牛個体識別制度等について理解が深まるよう工夫されている。
(6) 家畜の飼育と畜産経営の実践	・「農家による実践事例」の単元において、「調べてみよう」など調査・発表する活動を取り入れることで、生徒が就農する際の経営実践に関する理解が深まるよう工夫されている。
b 農業や農業関連産業と関連付けている内容	
(1) 「畜産」とプロジェクト学習	・「畜産とプロジェクト学習」の単元において、先進的な飼育技術の導入や生産工程の改善など、地域の畜産農家や畜産関連諸団体・企業との連携について記載されている。
(2) 畜産の役割と動向	・「畜産の役割と課題」の単元において、畜産が関連産業の重要な雇用先であること、日本において非常に大きな産業部門を形成していることが記載されている。
(3) 家畜の特性と飼育技術	・「家畜排せつ物の処理と利用」の単元において、各動物の飼育上で排出される家畜排せつ物による堆肥の製造や加工販売、耕種連携活動について記載されている。
(4) 家畜の飼育と管理・評価	・「飼料の特性と給与」の単元において、飼料価値とその評価方法に関して、飼料の安全性を確保するための法令や危害要因分析・重要管理点（HACCP）等に基づく家畜の飼料の安全保証について記載されている。
(5) 畜産と経営	・「野生生物への対応」の単元において、野生鳥獣害問題の課題解決に向けて、地域経済の活性化による農山村の復興と農林地の再生、野生動物の管理と共存について記載されている。
(6) 家畜の飼育と畜産経営の実践	・「畜産経営の改善」の単元において、畜産の経営成績の整理や評価は、経営内で行うことが基本だが、外部の支援組織を上手に利用するなど、経営管理のポイントが記載されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	記載なし
ユニバーサルデザインの視点	・全般にわたって見やすいユニバーサルデザインフォントを使用している。